

新しい農業委員がきまりました

農業委員の定数が改正されてからはじめての選挙が、さる7月15日行われました。

このたびの選挙では、上川沿、下川沿、二井田、真中の4地区が無競争であったため投票を行いませんでしたが、あとの旧大館、釈迦内、長木、十二所の4地区でははげしい選挙が行なわれたようです。

このため、投票率も全体的によく、十二所地区の92.95%の最高に、長木地区 82.61%

釈迦内地区 81.27%

旧大館地区 79.20% となっており前回より67.5%も上まりました。

選挙の結果、新しく農業委員になられた方がたはつぎのとおりですが、これから先この方がたは、農民の代表として、農林行政の振興と農地の保全のために努力していただくことになりま

新しくきまった農業委員

《旧大館地区》→定員2名

桜庭玄之松(前) 伊藤小太郎(前)

《釈迦内地区》→定員3名

伊藤悦二(前) 三浦千代治(新)
菅原米太郎(前)

《長木地区》→定員3名

工藤宇吉郎(前) 石垣輝光(前)
三浦要太郎(前)

《上川沿地区》→定員2名

藤原正治(前) 金子良悦(前)

《下川沿地区》→定員2名

鎌田孫太郎(前) 斎藤卯一(前)

《二井田地区》→定員3名

小林与吉(前) 因幡兵一(前)
芳賀繁一(新)

《真中地区》→定員2名

石戸谷岩吉(前) 虻川政吉(前)

《十二所地区》→定員3名

黒田一郎(前) 吹谷源太郎(前)
佐藤幸雄(前)

◎ (選任委員)

＜学識経験者＞ 畠山耕英、佐々木半次郎、石田豊治

＜農業団体＞ 日景助次、(農協) 富樫卯一(共済)

その3 企画室

世の中が進歩するにつれて、わたくしたちの生活環境は一層複雑化してまいります。

そこで、これらの生活環境を整備しすみよい町をつくるため、市役所としては、できるだけ多くの市民の要望をとり入れた事業を、市の発展とにらみ合わせて総合的に行なう必要があることから、39年2月

に企画室を設置し、当面の問題である鉱山開発と事務処理の合理化を実施してきました。

そのご、県庁から湯瀬富彦室長と成田哲朗室長補佐をむかえて陣容を整え次のような仕事をしております

(1) 市役所の仕事のうち、市全般に 関係する仕事、または、どこの課にも属さない重要施策について、市長の命令によって必要な調査および研究分析と計画をつくること。

(2) 市の産業の発展や基盤整備、生活環境を整備するため、市役所の各課を調整して総合的な計画をつくること。

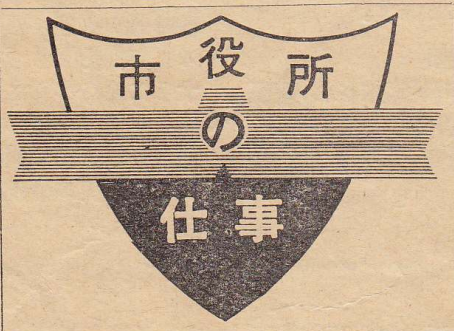
(3) 鉱山開発については、都市計画事業との関連を考慮するとともに関連産業の育成助長について調査研究をおこない。

また、鉱害を未然に防ぐことを大きな目標として、鉱業用水道と鉱さいの処理施設を設置すること、および採掘による地盤沈下に対処するため観測標をたて

ることなどを関係機関にはたらきかけて促進する。その他騒音や煙害を防ぐために市の窓口となって対策を構ること。

(4) 市民生活の安定をはかるため国や県と協力して消費者を保護するための物価等の調査をおこなうこと

(5) 市民のサービスを向上し、行政経費を節約するために、市役所の組織や事務処理の合理化を検討すること。



8月納税 県市民税 第2期分

8月31日までです。よろしくお願ひします

国民年金

が改善されました

第51国会(6月27日)で国民年金法が改正され、42年1月分から保険料や各年金の受給額がづぎのとおり改正されます。

きょう出年金の場合

(かけ金をかけて年金を受けるもの)
()内は現在の給付額

老令年金

25年保険料を納めた場合

年額6万円(2万4000円)

40年保険料を納めた場合

年額9万6千円(4万2000円)

障害年金

最低保障額

年額6万円(2万4000円)

重度の障害者の場合

年額7万2000円(3万円)

母子年金

子ども1人の場合

年額5万5200円

(1万9200円)

※2人目の子どもから1人月400円が加算されます

遺児年金

最低保障額(遺児1人の場合)

年額3万円(1万2000円)

◆障害年金の対象範囲が広がられます

現在の対象は、肢体、眼、耳などの不自由な人や結核、精神病患者だけが対象ですが42年1月分からは、このほかに、心臓病、がん、高血圧症そのほかすべての病気による障害が対象になります。

◆保険料が100円引きあげられます

36才未満は月額200円(現在100円)

35才以上は月額250円(現在150円)にそれぞれ42年1月分から改正になります。

あなたも1冊、わたしも1冊

昭和42年用

秋田県民手帳

予約募集

1冊 100円

申込先

市役所市民課資料整備係